

令和2年度 館林市立第一小学校 学校経営の計画

第Ⅲ期群馬県教育振興基本計画

- 視点1 生涯にわたり一人一人が持つ個性や能力を伸ばし、可能性を育むために、自ら学び、自ら考える力を育成する。
- 視点2 誰もが互いに多様性を認め合い、共に支え合う社会をつくる。

方針2 「豊かな心」

体験的な活動を重視して「美しいものに対する感動や思いやりのよさ」「人のために役立つ喜び」を味わえる教育活動を展開し、心の教育の充実を図る。

- 1 体験的な活動の価値を高めます。
小中あいさつ運動 感謝のつどい たてわり活動
各教科における体験 新たな教育資源の活用
- 2 交流を推進します。
お年寄り 公民館 幼保小中連携 新しい人材
- 3 生きものにふれる活動を推進します。
うさぎ 鯉 メダカ 昆虫 その他

方針4 「家庭・地域連携」

本校の教育について保護者や地域との交流を推進して共通理解を図り、良好な関係を築く。

- 1 ボランティア組織を充実させます。
既存の組織活用 ボランティア募集
- 2 学級・学年懇談を充実させます。
保護者参加型 学級経営方針の共通理解
- 3 情報を発信し、学校評価を生かします。
教育の趣旨伝達 指導法の公開 評価に基づく改善
- 4 コミュニティ・スクールの準備を進めます。
背景と価値理解 学校運営協議会設立準備
- 5 地域の教育力向上に貢献します。
育成会行事への参加促進 公民館との相互連携

方針6 「職場環境」

教職員一人一人が自らの持ち味を存分に発揮できる健全な環境をつくり、質の高い教育を行う基盤をつくる。

- 1 よい雰囲気をつくります。
伝え合い サポート 世代間交流
- 2 互いに手伝い、チームで仕事をします。
役割分担 チームで子ども育成
- 3 成果と責任を共有します。
教育資源共有 失敗原因究明 具体的改善
- 4 外部の力を活用します。
人材把握 多様な場面で協力依頼
- 5 働き方改革を進めます。
必要性見直し 優先順位付け 勤務時間の自己管理

方針1 「確かな学力」

児童主体の「見つけた」「わかった」「できた」という喜びが味わえる授業を展開し、児童一人一人が確かな学力を身に付けることができるようにする。

- 1 チームで教材研究の楽しさを味わい、授業を改善します。
校内人材活用 授業参観 指導と評価の一体化 ノート指導 はばプラⅡの活用
※授業づくりのポイント
ねらいの明示 導入の工夫 見通しをもった自力解決 振り返り時間の設定
ユニバーサルデザインの視点 理由や根拠に基づく意見発表
- 2 校内研修を推進します。
共通理解 言語力育成(音声言語 文字言語) 課題に即した実践的研修
- 3 情報活用能力を育てます。
タブレットPC活用 ICTを活用した教材教具の共有 プログラミング体験
- 4 家庭学習を充実させます。
自主学習の仕方指導 学び方紹介 授業とリンクさせた課題提示

館林市の教育 「基本目的」子どもたちが健やかに成長できるまち

- 1 特色ある学校づくり
- 2 確かな学力の向上
- 3 豊かな心の育成
- 4 個性を伸ばす教育の推進
- 5 学校保健・安全の充実
- 6 体力・運動能力の向上 食育推進

方針3 「心身の健康」

安全に留意し、自ら運動に親しみ心身ともに健康な体をつくらうとする態度を育てる。

- 1 一レボを改善します。
効果 楽しさ 外遊び習慣
- 2 体育の授業を工夫します。
コミュニケーション 喜び 達成感 体力向上
- 3 保健指導を工夫します。
掲示物 保健日より 「手洗いとうがい」指導徹底
- 4 食育を推進します。
栄養バランス 健康相談
- 5 安全点検をしっかりと行います。
施設整備 危険箇所把握 具体的防止指導

方針5 「教師の姿勢」

学校生活における児童観察に努め、児童自身が自分の成長に気づくことができるように働きかける。

- 1 よさを認め、紹介します。
児童との会話 よさを他者に紹介
- 2 児童一人一人の居場所をつくります。
特別活動の活性化 活動の振り返り 子どもと共に活動
- 3 正しい言動で模範を示します。
呼名 場に応じた言動
- 4 個性を理解し、大切にします。
傾聴 共感 子どもの困難さ理解
- 5 子どもの成長を記録し、正しく評価します。
写真やメモ(事実) 抱える問題の共有

目指す学校像 安全・安心な学校づくり

児童にとって 安心して通える学校

- ・楽しく学べる
- ・自分のよさが発揮できる
- ・仲よしの友だちがいる
- ・みんながルールを守っている

保護者・地域にとって 安心して預けられる学校

- ・確かな学力を身につけてくれる
- ・学校の様子がよくわかる
- ・ニーズに応じてくれる
- ・開かれた学習が行われている

学校教育目標 (めざす児童像) 「進んで学び 心豊かで たくましい 一こっ子」の育成

- #### <進んで学ぶ子>
- ・楽しく学ぶ子
 - ・気づき考え伝え合える子

- #### <心豊かな子>
- ・相手の気持ちが分かる子
 - ・自分のよさに気づく子

- #### <たくましい子>
- ・進んで働く子
 - ・めあてに向かってがんばる子

生活行動合言葉 「うた」と「そうじ」と「あいさつ」と

職員にとって 安心して働くことができる学校

- ・使命感や誇り、児童への愛情や責任感をもっている
- ・児童理解力、生徒指導力、学習指導力などの高い専門性をもっている
- ・豊かな人間性や社会性、常識と教養、対人関係能力、同僚性をもっている
- ・その時々に応じた役割を果たすことができる
(指導者 助言者 支援者 共感者 相談者)

【重要課題】 「いじめ」と「不登校」

- 「いじめ」には
- ・「いじめ防止基本方針」に基づき、組織的に対応します。
- 「不登校傾向児童」には
- ・保護者と共通理解を図り、児童に合ったサポートを行います。
 - ・教育研究所、SC、SSW、子ども福祉課などと連携します。
- 「子どものSOS」
- ・学校全体でSOSの出し方教育を行います。